100 世界遺産の旅（150）

世界を観る、地球を歩く①

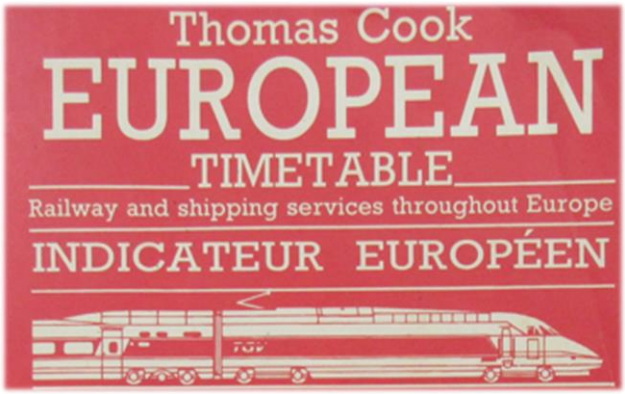
人生を豊かにしてくれる海外個人旅行は、3 段階のフェーズで構成される。まずは、高揚感あふれる計画時、陶酔感と不安感を抱く旅行時、帰国後の安堵感と達成感、そして反省となる。夢に現れる旅の情景は、幸いにして、穏やかな眠りの助けとなる。

なお、個人旅行とは、団体旅行やパッケージツアーを利用せずに、個人が主体者となる観光旅行を指し、旅を成功させるには、その必需品を厳選する必要がある。まず、最も大事なのが旅行案内書で、若い頃は JTB ポケットガイドを利用していたが、「地球の歩き方」が発刊されてから、それに切り替えた。

JTB ポケットガイド（左）、地球の歩き方（右）

「地球の歩き方」は、旅行計画に欠かせない道中案内に加え、歴史の情報が多く掲載されているのが嬉しい。訪問国の歴史を前もって調べ、現地でその国や地域の歴史を検証するのも面白い。海外個人旅行は、世界史を巡る「歴史探訪の旅」とも云える。

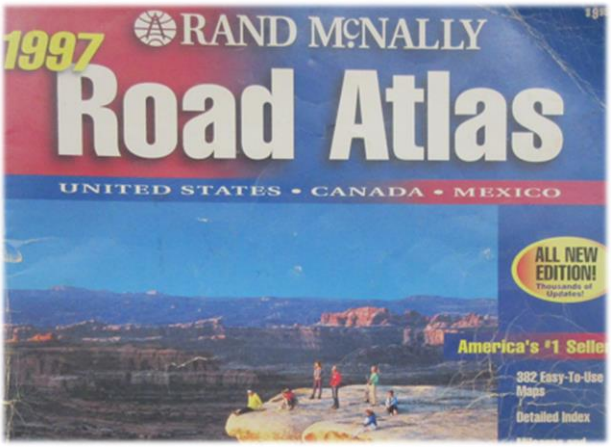
「地球の歩き方」は、もともとダイヤモンド社発行だったが、2022 年、コロナ禍で経営不振となり、現在は、学研グループに事業譲渡されている。



Thomas Cook European Time Table、 England

ヨーロッパを旅する時は、鉄道利用となるのでトーマスクック時刻表が必携であった。東はモスクワ、西はリスボン、南はナポリ、北はオスロ間に利用した。

いわゆる、旧国鉄の時刻表と考えれば、その使用方法も自ずと分かるものである。私は、鉄道オタクではないが、若い時から国鉄監修日本交通公社の時刻表や Thomas Cook European Time Table を、出張や旅行時、カバンに忍ばせて乗車中の暇を見つけては、眺め回して愉悦に浸る一人であった。



Road Atlas、 USA

アメリカの旅は、レンタカーになる。ドライブの地図としては、全米を網羅している Road Atlas が、旅の計画時も、ドライブ中も手助けになった。アメリカやカナダの道路は、日本やヨーロッパと違い、広々とした大陸に近代的な整備が施されており、とても分かり易く、一冊の道路地図帳で充分である。

2004 年 5 月、Canada の Calgary を出発して USA の Yellow Stone へ向かったが、輝くような日の出と、突如、空を横切る白頭鷲の飛翔が忘れられない。

スマホについては、今後一層、旅行時の必要性は高まるだろう。現地の情報入手は序の口で、Wi-Fi 環境であれば、LINE を使って、日本国への電話やビデオ通話が無料になる。また、スマホは、携帯電話に比べ、維持費が安くなるのが嬉しい。

私は、OPPO Reno A を￥29,800 で購入し、Docomo 網の「日本通信」を利用している。電話代は別であるが、Data 量 1GB で 293 円/月の料金には助かる。家では光 Wi-Fi なので、スマホは 1GB で充分である。

さて、日本を一歩出れば、英会話の世界に身を置くことになる。南アの黒人ドライバーが言っていたが、「日本人が、世界で最も英語を喋らない国民」だと。これは、英語が聞き取れないため、それゆえ喋れないのである。

私も大いに、この問題を抱える一人であるので、毎朝 15 分、NHK「ラジオ英会話」￥550 を聞いている。

幕末、渡航に失敗した思想家/吉田松陰が曰く、

「地を離れて人はなく、人を離れて事はなし、
故に人事を論ぜんと欲せば、先ず地理を観よ」

松陰の望みは、世界を観て、地球を歩いて、帰国後に、列強と相競える日本を創りたかったのだろう。